

同志社大学フォーミュラプロジェクト
支援者様

令和7年 5月 21日

同志社大学フォーミュラプロジェクト
4月活動報告

晩春の候、皆様におかれましては、ますますのご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご支援、ご配慮を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、この度は同志社大学フォーミュラプロジェクト(以下 DUFPP)の4月の活動についてご報告
させていただきますたく存じます。

当プロジェクトは、スポンサー企業様・個人支援者様、先生方、OBOGの皆様方の寛大なご支
援、並びにご協力により活動を進めさせていただいております。多大なるご支援を快くしてくださ
いませ皆様方に深く御礼申し上げます。

現在は、今年度の大会に向けて、車両の走行を重ねております。今後とも何卒、当プロジェクトを
よろしく願い申し上げます。



図1. シェイクダウン後の集合写真(学内自動車練習場にて)

D.U.F.P

Doshisha University Formula Project

1. スポンサー様



図2. スポンサー様一覧

D.U.F.P

Doshisha University Formula Project

株式会社ヒロミツ製作所様

株式会社ヒロミツ製作所様より、オイルタンク及び燃料タンクの加工のご支援をいただきました。今年度も引き続き、卓越した溶接技術でアルミ薄板の溶接をしていただき、大変ありがたく存じます。オイルタンク及び燃料タンク両方について、漏れ検査及び再溶接までしていただき、高い信頼性を実現したタンクに仕上げていただきました。今年度もご支援いただき、心より感謝申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



図 3.加工のご支援をいただいたオイルタンク(左)、図4燃料タンク(右)

株式会社 ITW パフォーマンスポリマーズ&フルイズジャパン様

株式会社 ITW パフォーマンスポリマーズ&フルイズジャパン様より、プレクスとミックスノズルをご支援いただきました。ご支援いただいたプレクスはウイングやアンダーパネルなどのカーボン製パーツの組付けに使用させていただきます。今年度もご支援いただき心より感謝申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



図 5.ご支援いただいたプレクスとミックスノズル

D.U.F.P

Doshisha University Formula Project

株式会社キョウシャー様

株式会社キョウシャー様より協賛価格にてレーザーカット加工をしていただきました。この度加工していただいたパーツは前後のウイングに使用させていただきます。本年度 2 度目のご支援誠にありがとうございます。今後とも引き続きよろしくお願いたします。



図 6. レーザーカット加工のご支援をいただいたパーツ

市光工業株式会社様

市光工業株式会社様よりブレーキランプ用の LED ライトをご支援していただきました。ご支援いただいたブレーキランプは今年度の車両に搭載させていただきます。本年度もご支援いただき誠にありがとうございます。

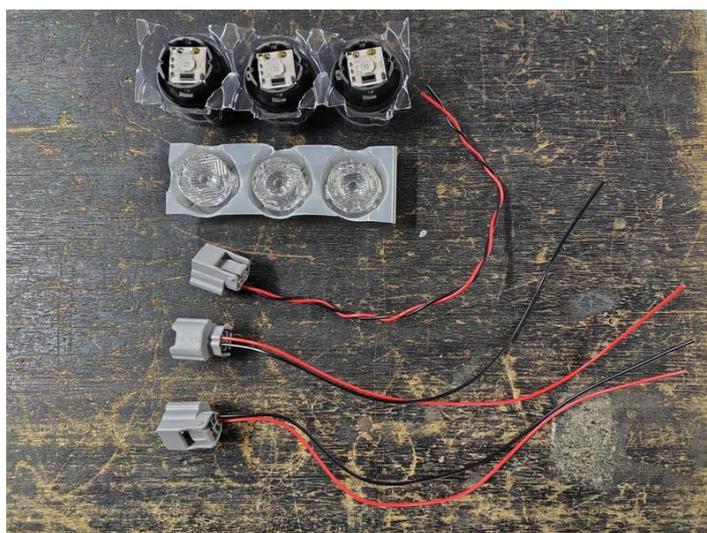


図 7. ご支援いただいた LED ライト

D.U.F.P

Doshisha University Formula Project

SHORAI JAPAN 様

SHORAI JAPAN 様よりリン酸リチウムイオンバッテリーを協賛価格でご支援いただきました。今年度ご支援いただいたバッテリーは今年度の車両に搭載させていただきます。今年度もご支援誠にありがとうございます。



図 8.ご支援いただいたリン酸リチウムイオンバッテリー

株式会社イケヤフォーミュラ様

イケヤフォーミュラ様より LSD 及びドライブシャフトを協賛価格でご支援いただきました。ご支援いただいた LSD 及びドライブシャフトは今年度の車両に搭載させていただきます。この度はご支援いただき誠にありがとうございました。



図 9.ご支援いただいたドライブシャフト(左)、図 10.ご支援いただいた LSD(右)

D.U.F.P

Doshisha University Formula Project

2. 活動報告

◆ 静的審査資料作成状況

コスト審査につきましては、現在 FCA および製造工程の作成・確認作業を進めております。

デザイン審査に関しましては、デザインブリーフィングを作成し、OB および指導者の皆様にご確認・ご指導をいただきながら、内容の修正を行っております。

また、プレゼン班におきましては、BPP (ビジネスプランプレゼンテーション) の作成を進めており、現在は添削・修正の段階に入っております。

◆ 車両製作進捗状況

フレーム班

ES の作成に際して、関連するエビデンスの準備を行い、SES の再提出を実施いたしました。

また、ファイヤーウォールの製作および他班担当マウント部品の溶接作業も行いました。

(フレーム班班長:3 年生 池田 倫哉)



図 11.マウント溶接の様子(3 年生 河田 実習工場にて)

エンジン班

エンジン班では、吸気、排気、冷却系、燃料タンク、オイルタンクのすべてを新規設計パーツとして搭載しました。いくつかのトラブルは発生しましたが、最終的には全パーツを無事に組み込むことができました。

しかし、走行することで新たに問題が生まれたため、来月以降に確実に解決し、泉大津試走会に万全の状態で見たいと考えています。

また、燃調については、吸気・排気系の仕様が確定し次第、本格的に調整を進めてまいります。

(エンジン班班長:3 年生 宮本 恭輔)

D.U.F.P

電装班

電装班の4月の主な活動内容は、シェイクダウン前後におけるメインハーネスと計測類の初期不良の洗い出し、及びトラブルシューティングでした。シェイクダウン直後は様々な問題が発生しましたが、現在は問題なく走ることが出来る状態に仕上げることができました。来月からは制御面や計測類の信頼性向上を目標に引き続き製作を進めて参ります。

(電装班班長:3年生 原 惇綺)

ドライブトレイン班

今年度使用するLSDが納品されたため、一時的に使用していたものから取り外し、改めてフレームへ取り付け直しました。先日、初走行を行い、無事に車両を走行させることができました。

(ドライブトレイン班班長:3年生 松村 暖之)

サスペンション班

サスペンション班の製作については、予定通り完了しており、現在、予備のパーツ類の製作中です。

(サスペンション班班長:3年生 神坂 知明)

エアロ班

ノーズやサイドポッドを製作しました。5月は主翼の製作を行います。

(エアロ班班長:3年生 香田 怜大)



図12.製作の様子(3年生 杉本(左),香田(右) 学内工場にて)

アップライト・ハブ班

昨年度問題となったベアリングナットとハブの固着問題はネジ面に潤滑油を塗布する対策により今年度は問題なく走行できております。

今後は整備に加え、静的資料作成及び車検用のエビデンス作りを行ってまいります。

(アップライト・ハブ班班長:3年生 大庭 宗一郎)

D.U.F.P

Doshisha University Formula Project

エルゴノミクス班

パドルシフト、クラッチレバーの製作、搭載が完了し、問題なく動作する事を確認いたしました。

今後にご支援いただいたブレーキマスターシリンダ、パッド、ディスクへの交換及び性能検証を行ってまいります。

(エルゴノミクス班班長:3年生 大庭 宗一郎)

◆ 走行会

4月13日にシェイクダウンを実施し、続いて4月20日、29日、30日には、学内練習場にてスキッドパッド走行を行いました。各走行後には必ずミーティングを実施し、各班で発生したトラブルとその対処方法についての情報を全体で共有することで、再発防止と改善に努めております。

現在は、来月末に予定されております泉大津での走行会に向けて、トラブルシューティングの強化および車両セッティングの最適化を進めております。引き続き、安全かつ円滑な運営を心がけながら、準備を進めてまいります。



図13.走行会の様子(学内練習場にて)

3. 学内のエンジンダイナモにて排気警告灯を点灯させた事案について

今年の2月14日から3月25日の期間中、学内の噴霧・燃焼工学室よりエンジンダイナモをお借りし、エンジン始動を行っておりましたが、3月25日に排気警告灯が点灯する事案が発生いたしました。原因として、排気と吸引ダクトの間に触媒を設置していなかったことが考えられます。現在は、使用を中止し、再発防止に努めております。

来年度の使用をご依頼させていただく際には、同様の事態が発生しないよう、抜本的な対策を講じる所存でございます。

この度は、噴霧・燃焼工学研究室の皆様、並びにご指導いただいております顧問の先生方に多大なるご迷惑をおかけしましたことを、心よりお詫び申し上げます。

D.U.F.P

Doshisha University Formula Project

4. 今後の予定

- 5月 4日 走行会(学内練習場)
5月 5日 走行会(学内練習場)
5月 25日 走行会(学内練習場)
5月 31日 走行会(泉大津多目的広場)

5. 最後に

今年度も無事にシェイクダウンを迎えることができ、現在は本格的な走行期間へと移行いたしました。これもひとえに、日頃よりご支援・ご協力を賜っております皆様のお力添えの賜物と、チーム一同、心より感謝申し上げます。

今後は、来月以降に予定されております泉大津での走行会をはじめ、他大学との合同走行会など、実走を通じた実践的な活動が本格化してまいります。それに伴い、チーム全体でスケジュール管理の重要性を再認識し、各自がより一層の自覚と責任をもって、安全第一の姿勢で取り組んでまいります。

また、大会での成績において重要な要素となる静的審査の準備につきましても、現在、資料作成が最終段階を迎えております。チーム一丸となって最後まで粘り強く取り組み、より良い成果を目指して全力を尽くしてまいります。

スポンサー企業様はじめ、個人支援者様、先生方、OBOG の皆様方、ご支援・ご協力くださる皆様方に心より感謝申し上げます。2025 年度大会に向け、より良い車両の設計・製作に尽力いたしますので、今後とも何卒よろしく願いいたします。

文責
同志社大学フォーミュラプロジェクト(DUFP)
25project 総務部長・エンジン担当

機械システム工学科 3年生

岩下 莉緒 (Rio Iwashita)

〒610-0394
京都府京田辺市多々羅都谷 1-3 同志社大学

MAIL(チーム): 18dufp@gmail.com
MAIL(エンジン班): dufpengine@gmail.com
MAIL(個人): cguj4028@mail4.doshisha.ac.jp
ホームページ: <http://dufp.racing/>

D.U.F.P

Doshisha University Formula Project